

資料編

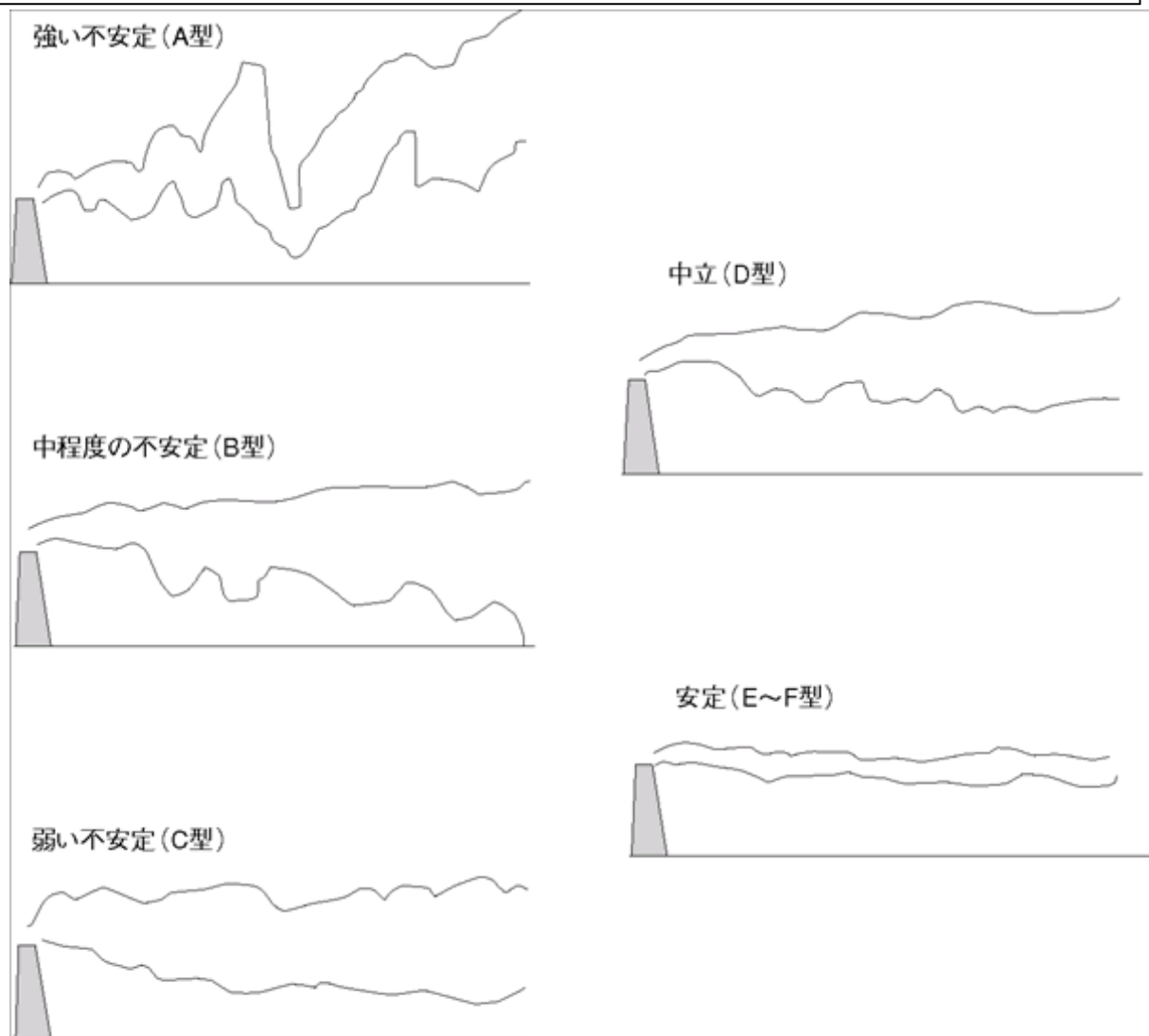
【参考資料編】

【参考資料目録】

資料1 大気安定度ごとの煙の拡散幅（イメージ）

資料1 大気安定度ごとの煙の拡散幅（イメージ）

下図は大気安定度ごとの煙の拡散幅のイメージです。
拡散幅が広い（不安定時）ほど、瞬間的に、近くに高濃度が出やすくなります。
そこで、予測条件は、大気安定度の不安定側条件（A～B）の起こりうる風速で予測し、地上濃度が最大となった条件（大気安定度A、風速 1.5m/s）の結果を記載しました。



出典：原子力防災基礎用語集（文部科学省）